

土砂災害対策により施設被害を低減し、放射性物質の漏洩等を防止する

【対策】98 国立研究開発法人施設等のインフラ整備対策

対策概要：災害発生後に研究活動の中断、データ消失、試料減失の危機等がある国立研究開発法人について、研究活動継続や安全確保対策等のための施設・設備等のインフラの更新・改修・整備等を実施する法人を国が支援するなどにより改善する対策を実施する。

府省庁名：文部科学省

【事例】人形峠環境技術センターの安全対策

- 実施主体：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
- 実施場所：岡山県苫田郡鏡野町、鳥取県東伯郡湯梨浜町
- 事業概要：鏡野町では、豪雨により法面や斜面が崩壊する土砂災害発生数が増加の傾向にあり、人形峠環境技術センターにおいて核燃料物質を取り扱う施設等を土砂災害から守るため、センター周辺における捨石の崩落・流出対策工事、法面の土砂災害対策工事を実施した。土石流流入を防止するための対策工事は令和5年度から実施した。
- 事業費：3.8億円
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分) 3.8億円)
- 効果：地震や近年多発している数十年に1回発生するような豪雨の際に、放射性物質の外部漏えいや周辺環境への汚染といった事故の未然防止・発生リスクの低減を図ることが可能となり、周辺住民のさらなる安全・安心の確保に貢献することができる。

＜麻畑2号坑捨石たい積場の安全対策工事＞



安全対策工事前

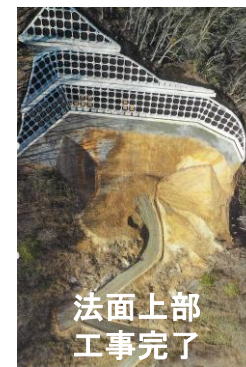


安全対策工事完了

＜濃縮工学施設(EEF)西側法面の安全対策工事＞



法面崩壊直後



法面上部
工事完了

※現在は、法面中腹部の工事を実施中

＜砂防堰堤、導流堤設置に係る測量、調査及び設計業務＞



砂防堰堤



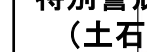
杭式土石流対策工



導流堤



特別警戒区域
(土石流)



警戒区域(土石流)



引用：岡山県総合GISより



安全対策設計完了